

産業能率大学 経営学部

2年次ゼミ I (キャリア設計と自己開発・経営学科)		履修年次	2
		単位	2
新井 稲二、池田 るり子、ヴァッド 郁代、内田 景子、漆田 隆司、川並 剛、小出 琢磨、坂本 祐司、櫻井 恵里子、藤原 由美、皆川 雅樹、矢島 正、横溝 岳、米元 洋次		配当期	前
		授業方法	演習/対面
<b>授業の内容</b>			
<p>[授業の概要]</p> <p>本科目で取り組む調査研究をベースにした学習方法を Inquiry-Based Learning (IBL) と呼ぶ。IBL は、初年次の Project Based Learning (PBL) 同様、Active Learning の代表的手法の1つであり、特にリテラシーの情報収集力・分析力を養うのに有効となる。IBL において企業分析の視点と手法を学習することは、将来、キャリア(就職先) 選択を検討する際にも役立つものとなる。</p> <p>基礎学力向上のための学習としては、授業外学習で指定された範囲を自習し、確認テストを行う。次に、授業外学習の成果を確かめるため、授業中に小テストを受験する。このように、自習→確認テスト→(必要があれば自習)→小テスト→(必要があればさらに自習)のサイクルを繰り返すことによって、着実に基礎学力を身に付けていくことができる。なお、授業外学習として実施する確認テスト(全9回)は、すべてmanaba上で実施する。</p> <p>さらに、社会人向けに開発された「ビジネスゲーム」を行い、ジェネリックスキル(特に観察力、コミュニケーション力) 養成の総仕上げを行う。</p>			
<b>この科目の到達目標</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎ゼミ I・II で学習した①アカデミックスキルおよび②ジェネリックスキル、基礎教育科目・実務教育科目で学習した③専門知識を統合的に活用することができる。</li> <li>研究倫理を身につけ、調査研究報告書(レポート)の書き方を修得している。</li> <li>基礎的な企業分析を行う力を身につけ、企業分析結果をもとに自身のキャリア選択を考慮することができる。</li> <li>自らの課題に取り組み、必要な知識、技能、能力の養成に継続して取り組むことができる。</li> </ul>			
<b>成績評価の方法</b>			
出席と課題を重視する。全出席を前提とする。授業出席の評価には参画度・貢献度も含まれる。課題についての詳細は下記「提出課題の指示」参照。課題も全課題提出が前提となる。			
週	授業項目	週	授業項目
1	ガイダンス Inquiry-Based Learning① 課題提示	8	Inquiry-Based Learning⑤ 中間報告
2	Inquiry-Based Learning② 分析の視点、情報収集方法の検討	9	ビジネスゲーム II ～コミュニケーションゲーム
3	基礎学力の確認(模擬試験の実施)	10	Inquiry-Based Learning⑥ 最終報告
4	Inquiry-Based Learning③ ブレ調査の結果共有分析の視点の絞り込み	11	基礎学力の確認(解説)
5	研究倫理研究報告書(レポート)の書き方	12	Inquiry-Based Learning⑦ 講評、優秀報告の発表
6	Inquiry-Based Learning④ ドラフトの相互フィードバック	13	大学生活における自己開発計画の作成
7	ビジネスゲーム I ～イメージ交換ゲーム	14	前学期振り返り総括 1 分間スピーチ